

2023 年度

理学部カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施方針）

理学部	<p>理学部では、学位授与方針を達成できるよう、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学部の専門講義と並行して、一般教育科目を履修することにより、専門外の分野及び語学に関する素養を身につけます。 (2) 自然科学の幅広い分野にわたる基礎知識を有することは、卒業後の選択肢を広げるとともに、専門分野の深化にも役立ちます。そこで各学科とも、専門分野を中心に据えるとともに、他分野の基礎知識・技法をも学べるカリキュラムを編成します。 (3) 講義によって得た知識を実習・演習を通して体得し、より確実な知識として確立できるようにカリキュラムを編成します。 (4) カリキュラム編成の集大成として卒業研究を行います。 <p>学修の成果は、予め明示した評価基準に基づき、評価を行います。</p>
物理学科	<p>理学部物理学科では、学位授与方針を達成できるよう、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 多彩な自然現象や物質の性質を解明するための基礎力を養い、活用できる能力を身に付けさせるためのカリキュラムを設定します。 (2) 一般教育科目における語学や人文社会系科目の履修により、幅広い教養を身に付けるとともに、豊かな人間性を養います。 (3) 1 年次は、物理学・数学の基礎力を充実させるカリキュラムを配置します。 (4) 2、3 年次には選択科目として、高い専門性を有する講義を展開します。 (5) 広範な応用力を養うため各年次に情報科学、生命物理学の講義を配置します。 (6) コミュニケーション・情報発信能力を養うため、研究発表・プレゼンテーションの演習を配置します。 (7) 少人数単位の演習、実験科目、そして研究室配属による卒業研究によってきめ細かな教育を実施します。 <p>学修の成果は、予め明示した評価基準に基づき、評価を行います。</p>
化学科	<p>理学部化学科では、学位授与方針を達成できるよう、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 自然現象を物質の性質とその変化から理解し、実社会における製品生産、環境保全に活用できる基礎知識と実践能力を身に付けさせるためのカリキュラムを設定します。 (2) 1 年次には一般教育科目を展開するとともに、物理化学、物質化学の基礎専門科目を配置します。 (3) 2、3 年次に物質探究の主要な方法論となる構造、反応、機能、合成に関する、より専門性の高い科目を展開します。 (4) 少人数単位の演習、実験科目（物質論、反応論から測定論、プレゼンテーション訓練を含む）によるきめ細かな教育を実施します。 <p>学修の成果は、予め明示した評価基準に基づき、評価を行います。</p>

<p>生物科学科</p>	<p>理学部生物科学科では、学位授与方針を達成できるよう、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施しています。</p> <p>(1) 普遍的な生命現象のしくみを理解し、生物学や基礎医学などの多岐にわたる分野で活躍できる幅広い知識及び研究能力を身に付けさせるためのカリキュラムを設定します。</p> <p>(2) 1、2年次には生物科学を学ぶ基礎となる一般教育科目を開講します。</p> <p>(3) 1年次に生命科学への導入として生物科学入門、生物化学を開講します。</p> <p>(4) 2、3年次には生命科学の土台となる分子生物学や細胞生物学に加え、高い専門性を有する発生学や免疫学の講義・実習を配置します。</p> <p>(5) 幅広い分野にわたる少人数単位の実習科目によるきめ細かな教育を実施します。学修の成果は、予め明示した評価基準に基づき、評価を行います。</p>
--------------	---